

令和7年度 東京医療保健大学大学院 博士課程入試
試験問題（論文）—看護学領域—

受験番号 _____

氏 名 _____

別紙の2本の論文について、下記の問いに答えなさい

論文A：小澤理香子，菅谷智一，森千鶴：病棟看護師のワーク・エンゲイジメントに影響する要因. 日本看護管理学会誌, 26(1), 55-63, 2022.

論文B：松岡 昌子，田中 美加：病院に勤務する看護師のワーク・エンゲイジメントと組織公平性との関連. 日本公衆衛生雑誌, 69(8), 595-605, 2022.

問題1 それぞれの研究目的について、研究意義（なぜこの研究が必要と著者が考えているか）を含めて記載しなさい

論文A	論文B

問題2 どちらの論文も重回帰分析を用いているが、手法が異なっている。それぞれ、どのように重回帰分析を用いているかについて、小問に沿って説明しなさい。

(1) 従属変数は何か。測定尺度について記載しなさい。

論文 A	論文 B

(2) 独立変数として何を用いているか、記載しなさい

論文 A	論文 B

(3) どのように重回帰分析を実施しているか、また、なぜその手法を選んだと考えるかについて記載しなさい

論文 A	論文 B

(4) 重回帰分析結果により従属変数と有意な関連がみられた独立変数を記載しなさい

論文 A	論文 B

問題3 2つの研究を比較し、目的と研究方法の一貫性、および、得られた結果の有用性について考えたことを記載しなさい

目的と研究方法の一貫性
得られた結果の有用性